

## 二次電池の充放電試験において、高精度な計測データ収集の他 安定した運用環境を提供

充放電ソフトウェア 

**アプリケーション例**

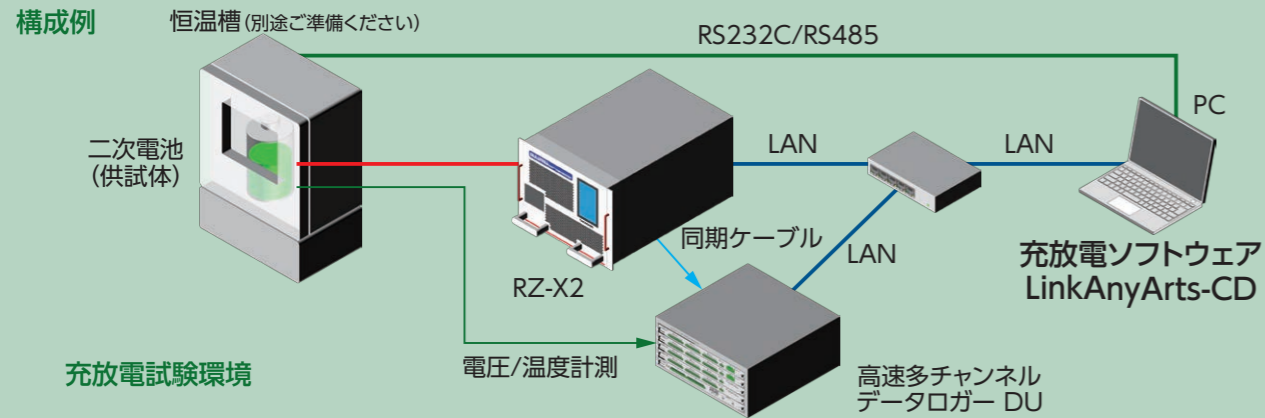
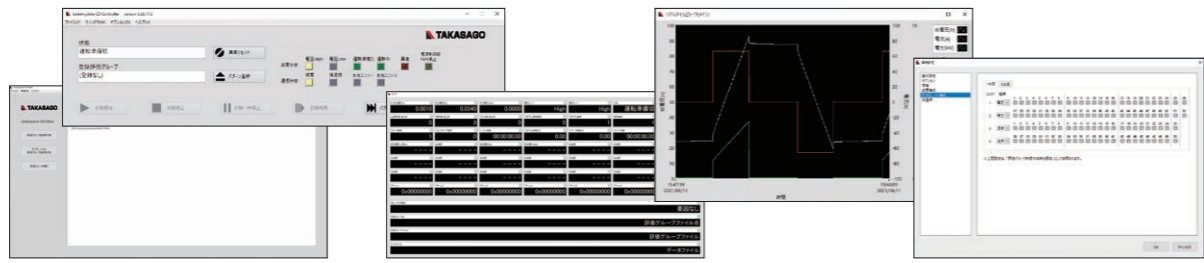
■ 二次電池充放電試験・・・など

LinkAnyArts-CD

対応製品と型番  
RZ-X2用:LA-3996



電力回生型ハイブリッド電源 (RZ-X2)、高速多チャンネルデータロガー (DUシリーズ) や  
恒温槽を連携でき、高精度な計測データ収集ができます。



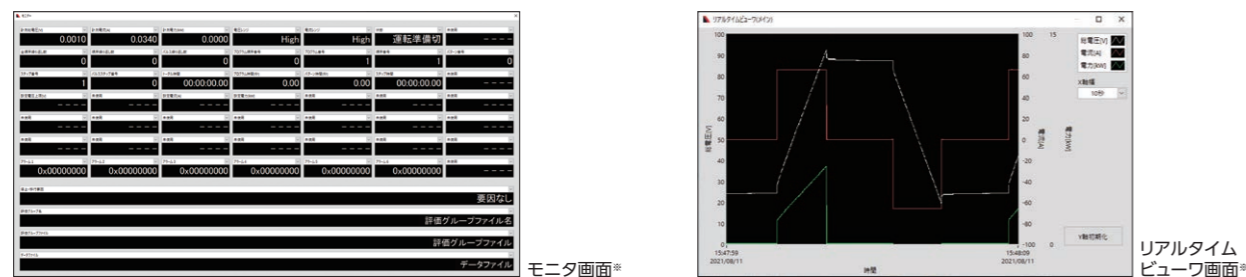
### 特長

#### ■ LinkAnyArts-CD (充放電ソフトウェア)

充放電試験を行うためのソフトウェアです。本ソフトウェアにより、電力回生型ハイブリッド電源 (RZ-X2)、高速多チャンネルデータロガー (DUシリーズ) や恒温槽を連携することができます。これにより、計測タイミングを同期でき、高精度、高品質な計測が行えます。また、リチウムイオン電池などの二次電池の評価試験に最適な、定電流 (CC) 充放電、定電流定電圧 (CC/CV) 充放電などの基本的な充放電モードの他、パルス充放電機能をサポートしています。

#### ■ 試験の状況をグラフィカルにモニタリング

試験の実行中は、パソコン画面上に試験の実行状態や、各設定値、計測値が表示され、計測値はリアルタイムビュー画面でも表示できます。また、リアルタイムビューは縦横スケールを設定機能を搭載、これにより、見たい範囲を自在にモニタリングを行うことができます。

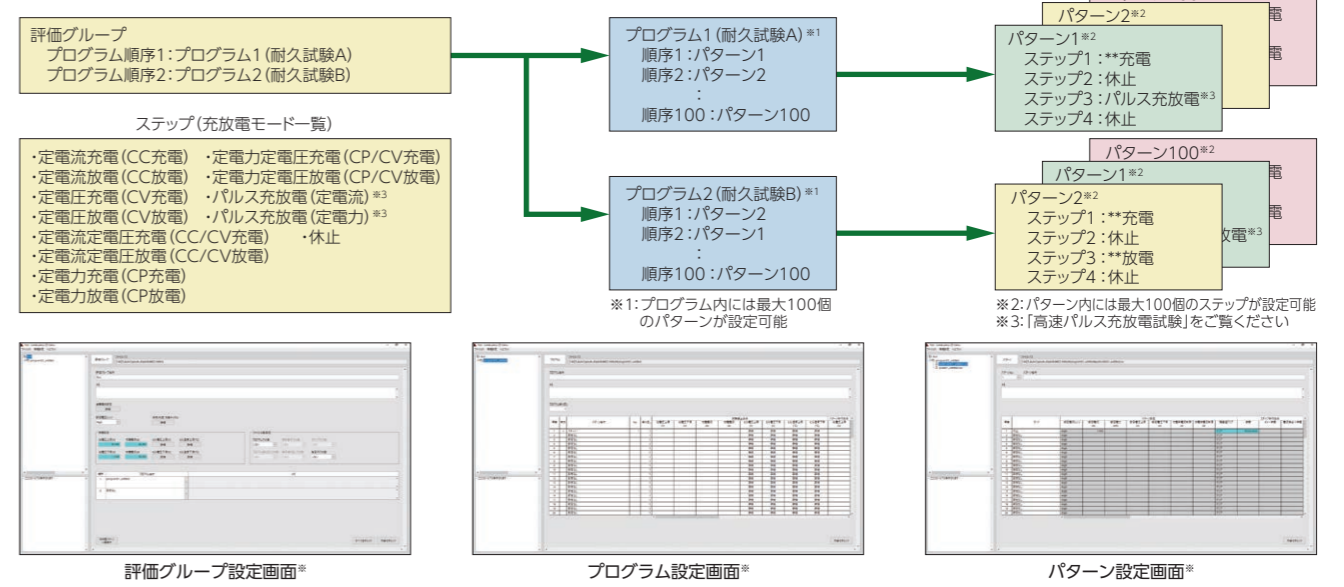


■ 約70項目の中から表示項目を自由に選択可能

### ■ 複雑なパターン構築も容易に実現

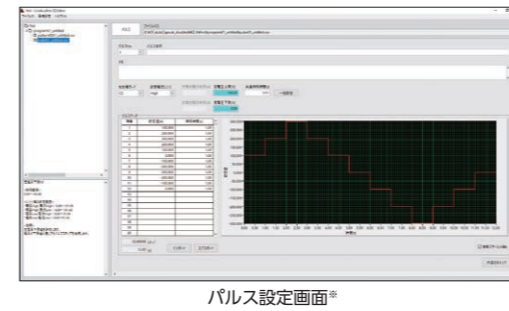
評価グループ×プログラム<sup>(※1)</sup>×パターン<sup>(※2)</sup>の3階層構成を導入、これにより複雑な試験プログラムを簡単に組むことができます。また、試験単位での入れ替えや繰返し回数<sup>(※3)</sup>の設定が容易にできるため、多彩な評価試験にも対応できます。

#### 評価グループ×プログラム×パターンの3階層構成



### ■ 高速パルス充放電試験<sup>(※3)</sup>

パルス充放電試験では、データロガーなどで測定し、CSV形式で保存された電流値または電力値のログファイル (最大6万ステップ) をインポートして、充放電試験のパルスパターンとして使用できます。



### ■ 試験データの保存

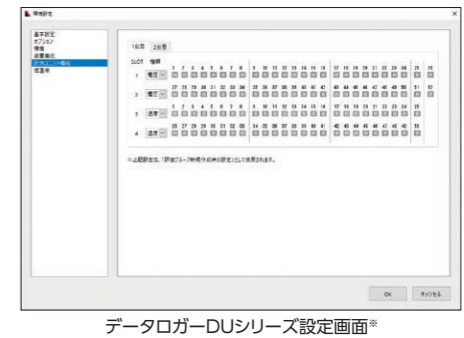
試験データは、CSV形式でパソコンに保存されます。

### ■ 豊富なステップ移行・試験停止条件

充放電試験に必要な各種パターン、ステップの移行や試験を停止する条件の判定機能をサポート。

### ■ データロガーDUシリーズとの連携

データロガーDUシリーズと連携ができ、高精度な同時多チャンネル電圧、温度計測が行えます。更にDUシリーズに実装する電圧・温度ボードにあわせて、自由に設定できるため、電圧・温度チャンネル数を多彩に選択できます。



### ■ 異常・故障監視

RZ-X2やデータロガー、恒温槽と常に通信を行い、異常発生時、試験を停止します。また、試験停止要因を簡単に確認できます。

※画面は開発中のものです。実際の商品とは異なる場合がございます。

### 仕様

機能	品名	LinkAnyArts-CD
	形名	LA-3996
希望小売価格 (円・税別)	605,000	
充電動作モード	定電流充電 (CC充電)、定電流放電 (CC放電)、定電圧充電 (CV充電)、定電圧放電 (CV放電) 定電流定電圧充電 (CC/CV充電)、定電流定電圧放電 (CC/CV放電)、定電力充電 (CP充電)、定電力放電 (CP放電) 定電力定電圧充電 (CP/CV充電)、定電力定電圧放電 (CP/CV放電)、パルス充放電 (定電流)、パルス充放電 (定電力)、休止	
主な機能	データロガー、恒温槽との連携、リアルタイムモニタ、CSVファイルインポート、CSVファイルによる試験データ保存、試験を停止する条件の判定機能 など 注: その他の機能についてはお問い合わせください。	
安全機能	RZ-X2や、データロガー (DUシリーズ)、恒温槽などの状態を監視、異常発生時、試験を停止 また、試験停止時の要因を確認可能	
設定項目	評価グループ設定	プログラムを最大2件
	プログラム設定	パターンを最大100件
	パターン設定	パターン数 最大100件 / ステップ数 最大100件 (充放電モード)
データロガー (DU)	パルス設定	パルス数 最大10件 (パルス充放電) / パルスステップ数 最大60000件
	最大接続数	2台
	電圧測定 最大チャンネル数	104 (1台) / 208 (2台) 4スロット電圧ボード実装の場合
恒温槽	温度測定 最大チャンネル数	100 (1台) / 200 (2台) 4スロット温度ボード実装の場合
	通信インタフェース	LAN
動作環境	通信インタフェース	RS232CもしくはRS485をサポートしている恒温槽 注: サポート機種についてはお問い合わせください。但し、本ソフトウェアがサポートしている通信コマンドに準拠している必要がありますので、詳しくは、お問い合わせください。
		Microsoft Windows 10 (32bit / 64bit) <sup>(※1)</sup>

※1: 動作するPCの詳細スペックについては、取扱説明書にてご確認ください。なお、取扱説明書のご希望の方は、弊社ホームページのお問い合わせフォームよりご確認ください。